

# 大分県立芸術文化短期大学における 「内部質保証」の取り組みについて

## 大分県立芸術文化短期大学

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE

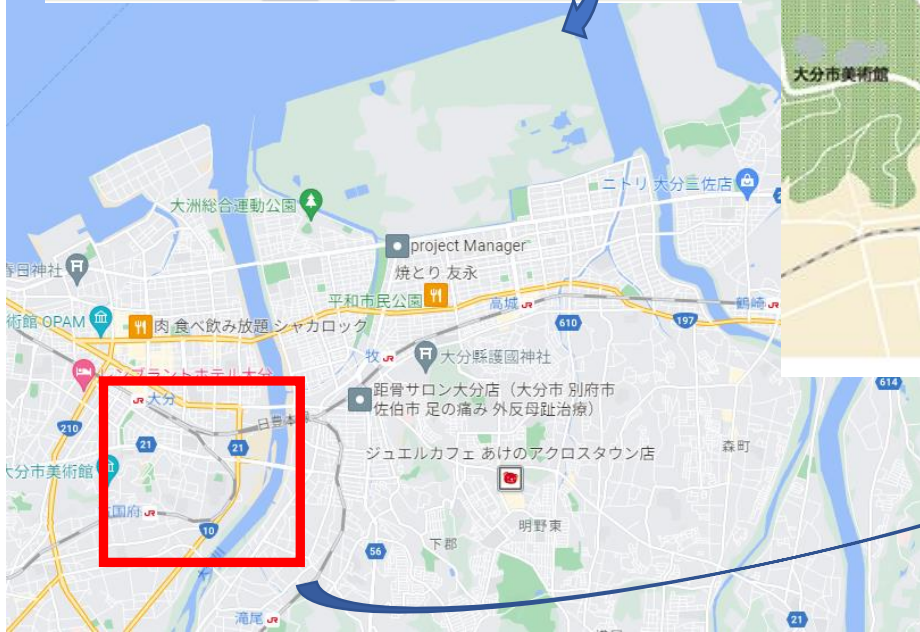


シンボルロードから臨む音楽ホール棟 平成31年2月 完成



公益財団法人大学基準協会  
「事例報告会」令和6年6月24日

# 1. 本学の紹介



## 1 - (1) 沿革

- 大正10年5月（1921） 東洋のロダンと呼ばれた彫刻家、朝倉文夫が大分県出身美術家総代として文部省に「九州美術学校建設に関する具申書」を提出
- 昭和23年4月（1948） 美術・音楽・外国語の3科からなる大分県立別府第2高等学校発足
- 昭和34年4月（1959） 別府緑丘高等学校（旧別府第2高等学校）に美術・音楽・服飾の3科からなる専攻科を設置
- 昭和36年4月1日（1961） 別府市に美術科及び音楽科からなる「**大分県立芸術短期大学**」発足
- 昭和50年4月1日（1975） 大分市上野丘東に全学移転
- 昭和54年4月1日（1979） 専攻科（1年制／美術専攻科、音楽専攻科）を新設
- 平成 4年4月1日（1992） 人文系2学科（国際文化学科及びコミュニケーション学科）を増設  
「**大分県立芸術文化短期大学**」に名称変更
- 平成15年4月1日（2003） コミュニケーション学科を情報コミュニケーション学科に改称
- 平成18年4月1日（2006） 大学運営を**公立大学法人**に変更
- 平成19年4月1日（2007） 専攻科を2年制の認定専攻科（造形専攻、音楽専攻）に改組
- 平成26年4月1日（2013） 国際総合学科を新設（国際文化学科は募集停止）
- 平成27年5月（2014） 大分市上野丘東に移転後約40年が経過し、施設の老朽化が課題となり、「大分県立芸術文化短期大学キャンパス整備基本構想」を策定
- 平成27年度（2014） キャンパス整備事業着手 令和2年度（2021）整備完了  
附属図書館・音楽ホール新設、芸術デザイン棟・美術棟一部新設改修等
- 令和 3年4月（2021） 創立60周年

# 1 - (2) キャンパス整備 (2014年～2020年)



**2019  
グッドデザイン賞**  
シンボルロード  
図書館  
音楽ホール



# 1 - (3) 本学の特色

## ○ 音楽科と美術科の芸術系学科と人文系学科を併せ持つ唯一の公立短期大学

【芸術系】美術科・音楽科 【人文系】国際総合学科・情報コミュニケーション学科

## ○ 県内外から多くの若者を受け入れ、その後の県内定着に貢献

・ 大学進学時の県外への人口流出を防ぐため、人文系学科を創設

## ○ 学生が地域に出向き、交流し、活力を与える地域貢献活動に注力

- ・ 全学をあげて芸短フェスタ、サービスラーニング【共通科目】、地域巡回演奏会、ふれあいアート講座など、住民参加や学生の地域奉仕活動を盛り込んで実施
- ・ 県立美術館OPAMとiichiko総合文化センターからなる芸術文化ゾーンと連携し、活性化を図る等**地域活性化、地方創生**を支える

## ○ 時代の潮流や教育ニーズの変化に対応した学生が魅力を感じる大学づくり

- ・ 地域の芸術文化プロジェクトを展開できる人材育成を目指し、H30年度から**全学科横断型の「アートマネジメントプログラム」**を開講
- ・ 海外の大学と協定等を結び国際交流を実施
- ・ 学長の人脈を活用し、トップアーティスト等を招聘し特別講演を実施
- ・ R5年度にブランド・アイデンティティ等を定め、第4期中期計画(R6～R12)を策定  
今後、共通科目の見直しや広報活動の強化等を図る

# ○ 音楽科と美術科の芸術系学科と人文系学科を併せ持つ唯一の公立短期大学

## 美術科

美術専攻(日本画・油彩画・ミクストメディア・彫刻)とデザイン専攻(ビジュアルデザイン・メディアデザイン・プロダクトデザイン・グラフィックアートの4コース) 理論、専門技術の学修を通して表現力・創造力・発想力・企画構想力を身につけ、幅広いビジネス分野で力を発揮できる人材育成

## 音楽科

「声楽」、「ピアノ」、「管弦打」、「音楽総合」の4コース 実技レッスン・演習・講義等により各分野の専門性を追及するだけでなく、音楽の技術、教養、知力をバランスよく獲得できる独自カリキュラム

美術科と音楽科では定められた教育科目の単位を修得することにより、**中学校教諭二種免許状**の取得が可能

## 国際総合学科

「国際コミュニケーション」、「観光マネジメント」、「現代キャリア」の3コース 国際的にも広く活躍できる人材の育成を目指し、学生一人ひとりが自らの目標に合わせて専門的な知識の習得やキャリア形成を行う

## 情報コミュニケーション学科

即戦力となる”社会人力養成”の「心理スポーツ」、「地域ビジネス」、「情報メディア」の3コース 様々な地域活動や企業活動に積極的に参加し、実践するだけでなく、その成果を多彩なメディアを通じて的確に発信する人材を育成

秘書士や情報処理士、簿記や各種語学の検定など、必要な科目履修や所定の試験合格で資格取得が可能

## 専攻科

### 造形専攻

### 音楽専攻

〔造形専攻〕 美術・ビジュアルデザイン・メディアデザイン・プロダクトデザイン・グラフィックアート  
〔音楽専攻〕 声楽・ピアノ・管弦打・指揮・理論・作曲

☆ 4年制大学と同じ”学士(芸術学)”の取得が可能(大学改革支援・学位授与機構)  
大学院への進学道を開く

## 入学定員学生数（令和6年度）

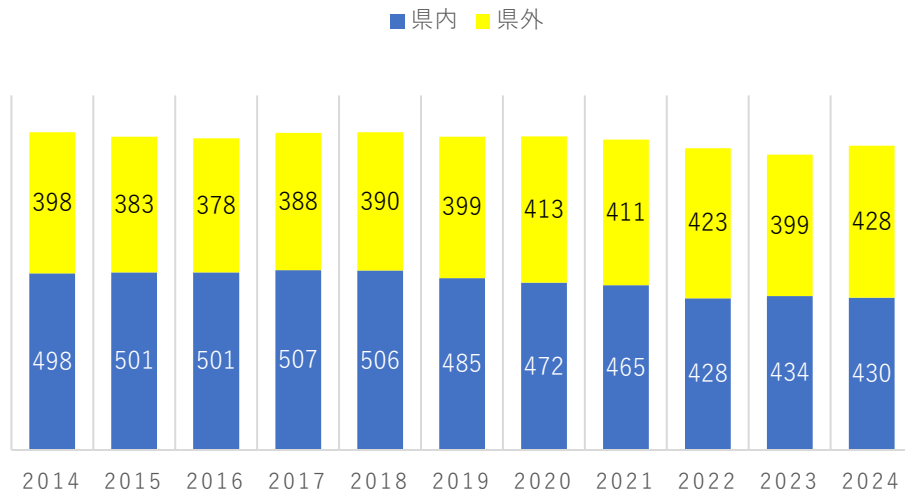
学科		入学定員	1年次生	2年次生	合計
美術科		75	87	104	191
音楽科		65	61	67	128
国際総合学科		100	113	124	237
情報コミュニケーション学科		100	80	123	203
小計		340	341	418	759
専攻科	造形専攻	24	28	23	51
	音楽専攻	20	24	24	48
	小計	44	52	47	99
合計		384	393	465	858

## 入試の状況（令和6年度）

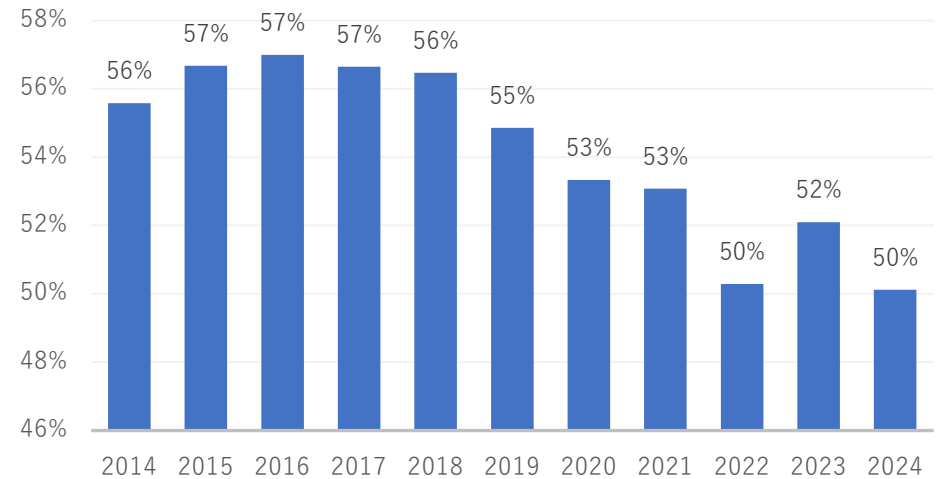
学科	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
美術科	75	172	171	95	87
音楽科	65	96	96	78	61
国際総合学科	100	201	199	199	113
情報コミュニケーション学科	100	157	157	157	80
小計	340	626	623	529	341

# ○ 県内外から多くの若者を受け入れ、その後の県内定着に貢献

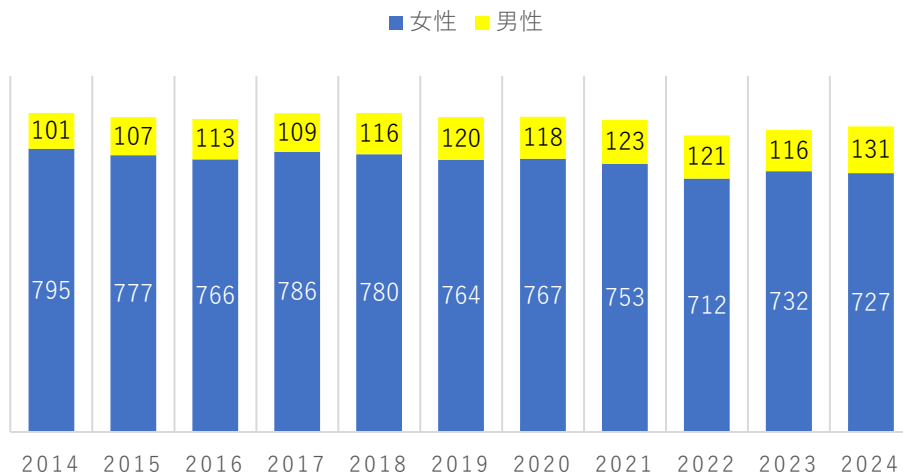
## 県内県外別入学者数



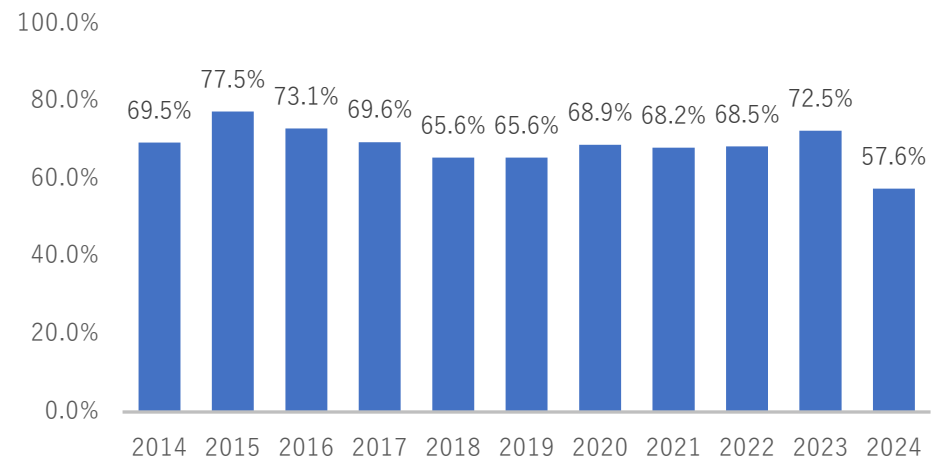
## 県内からの進学率



## 男女別入学者数



## 県内就職率





## 2. 内部質保証への取り組み

### (1) 内部質保証の方針及び手続等

※本学では従来、外部からの評価を通じて「内部質保証」を行っていた。  
認証評価は、2010（平成22）年度に（独）大学評価・学位授与機構、  
2016（平成28）年度、2022（令和4）年度に（公財）大学基準協会を受  
け、いずれも「適合」の評価をもらっている（6年ごと）。  
⇒2006（平成18）年度の公立大学法人化に伴い、毎年度「事業年度に係  
る業務の実績に係る報告書」を大分県地方独立行政法人評価委員会に提  
出し、年度計画に挙げた事項の実施状況や実績における自己評価への委  
員会評価を受けている。

しかし、いわゆるこれら内部質保証の内容に関する全学的な方針及び手  
続きは明示されていなかった。そのため、2020（令和2）年2月5日付の  
教育研究審議会にて「内部質保証の方針及び手続等」を設定することと  
し、内容を定めた。

⇒2022年度の「認証評価」に向けての取り組み

# 令和2年2月5日付の教育研究審議会

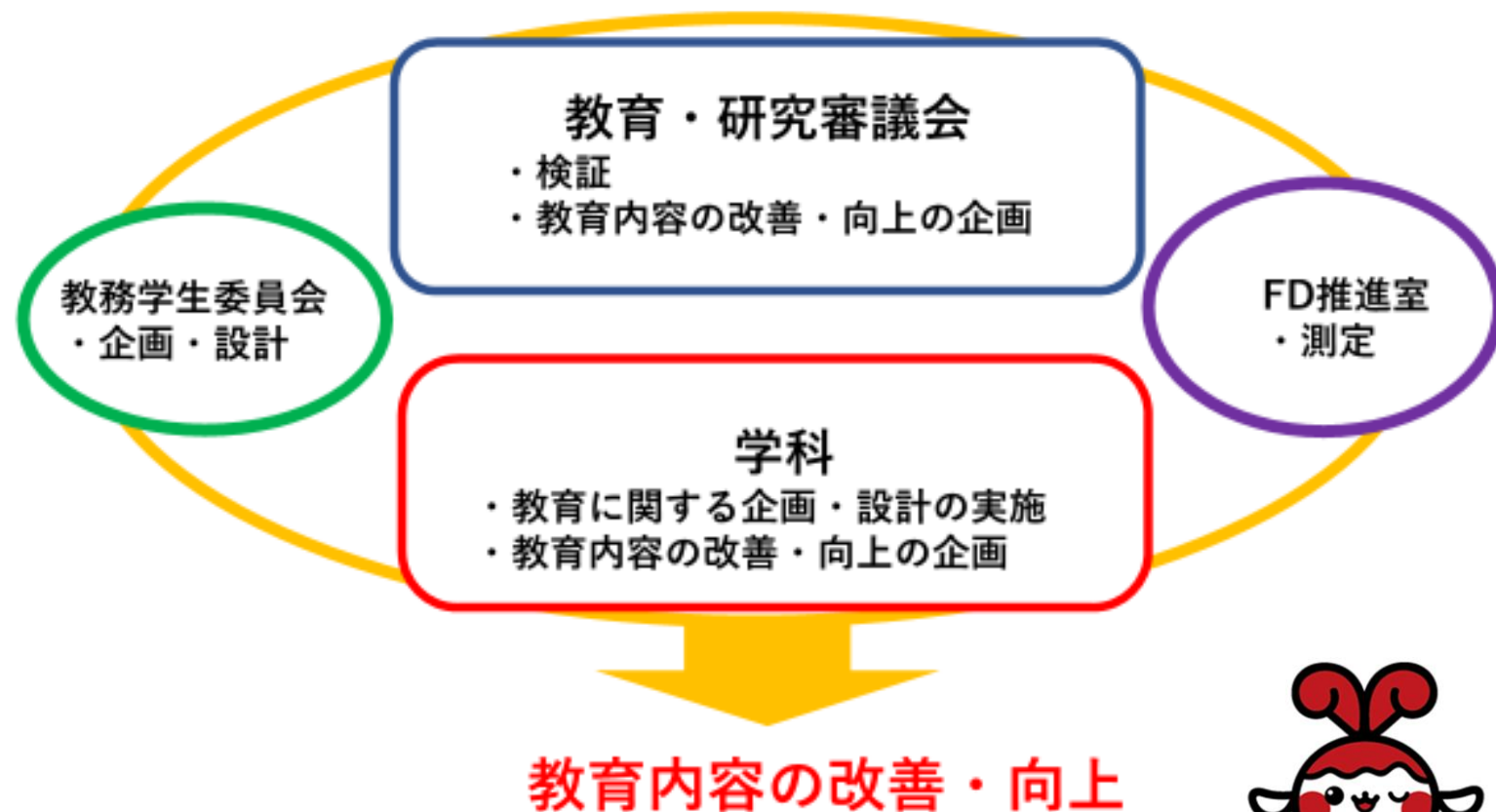
「本学の教育目的・目標、そしてそれが実現されるよう定められた学位授与方針（ディプロマポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）等に基づく教育の質の向上への取り組みを恒常的・継続的に行うよう、**内部質保証の組織を整備**し、PDCAサイクルのプロセスを確立する。そして、それらの組織が**機能的に学修成果の測定、教育研究の自己点検を実施し公表**を行う。」

⇒内部質保証の**体制構築**へ

## (2) 内部質保証推進の組織

- 全学における内部質保証の推進に責任を負う機関を「**教育研究審議会**」とする。
- 教育に関する企画や設計（カリキュラムなど）に関しては**教務学生委員会**が指示を行い、各学科と連携しながら実施を行う。測定（授業評価アンケートや卒業生・修了生満足度アンケート）に関しては、**FD推進会議**が各学科と連携しながら実施する。以上の企画、設計、測定に関する内容については、それぞれの委員会でまとめたものを**教育研究審議会**が検証し、**各学科**とともに教育内容の改善や向上に努める。

## (2)内部質保証推進の組織



## (2) 内部質保証推進の組織

- 教育研究審議会が点検・評価の実施を発議し、学長の統括のもと、事務局長、教務学生部長、同副部長、図書館長、総務企画部長、学科長、学外委員1名及び、指名された作業部会委員（学科教員と事務職員）を中心に点検・評価作業を行う
- 教育研究審議会が点検・評価を行う際に、その内容となる教育に関する企画や設計（カリキュラムなど）に関しては教務学生委員会が年間を通じて、各学科と連携しながら実施する。特に9月以降は、現状のカリキュラムの状況を検証した上で次年度のカリキュラム改編について各学科で検討をするように要請し、各学科から上がってきた改編内容について委員会メンバーで確認を行う。その際、学位授与方針（ディプロマポリシー）、教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学生の受け入れ方針（アドミッションポリシー）等の各方針の見直しも同時に検討を行い、カリキュラムとの整合性も検討していく。

# ～内部質保証のサイクル～

月ごと

第1週水曜日：教務学生委員会

⇒ 第2週水曜日：教育研究審議会

⇒ 第3週水曜日：教授会

⇒ 第4週水曜日：学科会議

⇒ 教務学生委員会へ

⇔ このサイクルと並行しながら

・ FD・SD推進会議を開催

⇒ 「FD・SDミーティング」の実施

- 測定（授業評価アンケートや卒業生・修了生満足度アンケート）に関しては、FD・SD推進会議が各学科と連携しながら実施する。以上の企画、設計、測定に関する内容については、それぞれの委員会でまとめたものを教育研究審議会が検証し、各学科とともに教育内容の改善や向上に努める。

⇔内部質保証の責任を負う機関を「教育研究審議会」としているが、それぞれ基礎ディシプリンの異なる芸術系・人文系を併せ持つ公立短期大学という性格から、内部質保証については各学科と教務学生委員会が中心になってPDCAサイクルを機能させているのが現状（現場主義？）

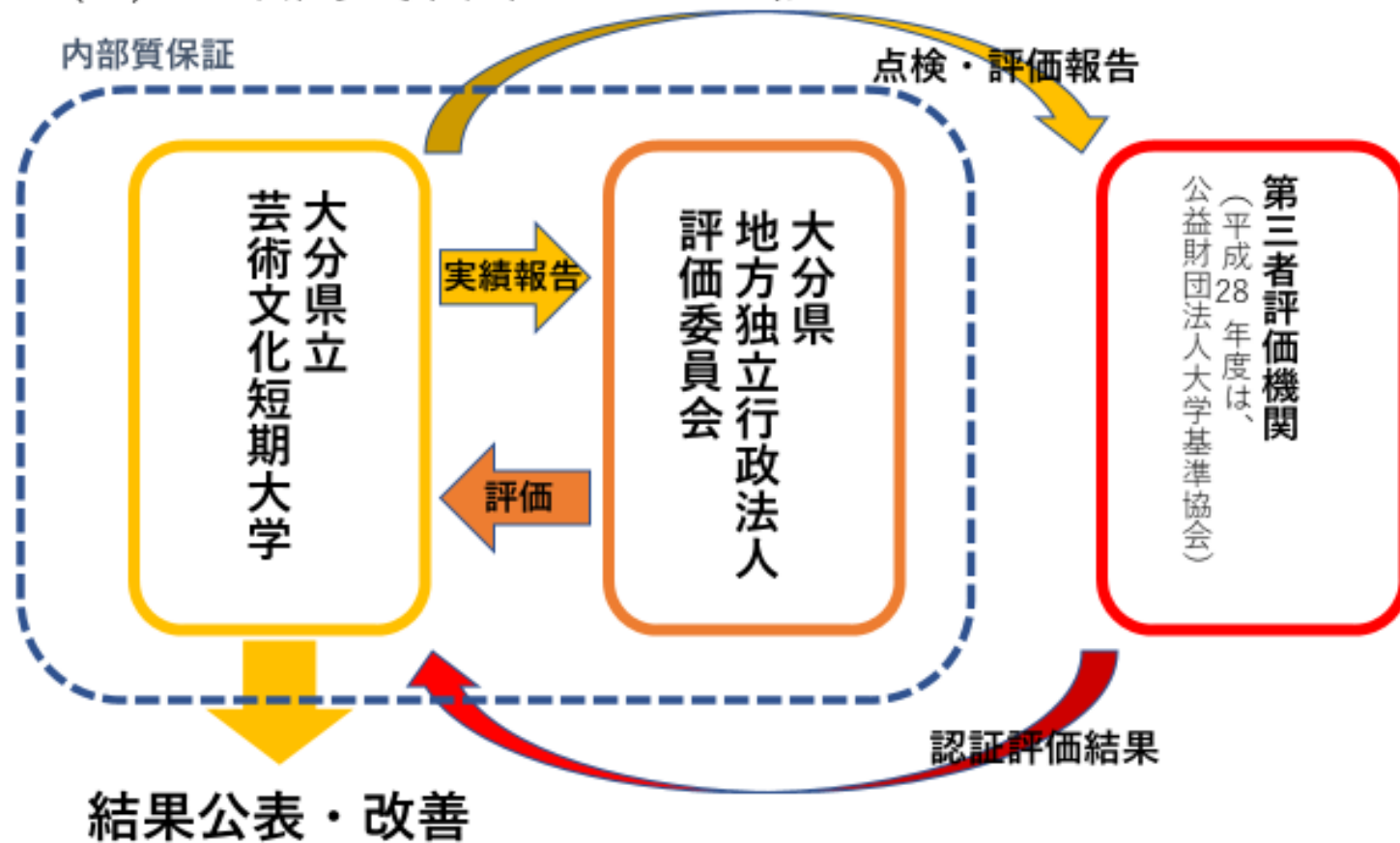
### (3) 内部質保証の手続き

- 社会に対する説明責任を果たすために、大学独自で行う自己点検・自己評価、認証評価機関が行う認証評価結果、独立行政法人評価委員会による中期目標に基づく中期計画、年度計画の評価結果、並びに財務諸表などについて大学ホームページでの公表を行う。

こうして、本学においては、外部評価に頼りがちであった内部質保証を、令和2年2月5日付の教育研究審議会で、方針・組織・手続きについて整理し、より実質的な内部質保証の構築を目指すことになった。



### (3)内部質保証の手続き



## (4) 今後に向けて

「全学的内部質保証に責任を負う機関を「教育研究審議会」とすることを2020（令和2）年に決定した。この体制での内部質保証システムが稼働し始めてから間もないため、内部質保証システムの適切性に関する点検・評価等をどのように行うかは定まっていない。今後内部質保証システムの適切性についても点検・評価を定期的に行い、その結果をもとに改善・向上に取り組むことが望まれる。」

（『大分県立芸術文化短期大学に対する認証評価結果』より）

※「第4期中期計画」（令和6年度～令和12年度）においては、

「評価指標」を導入し、3年ごとに達成度を確認

⇔令和6年度より、改革推進委員会が設置

☆新しい体制の下での内部質保証システムの見直しが必要

### 3. 本学の取り組みと「これから」



## ○ 学生が地域に出向き、交流し、活力を与える地域貢献活動に注力（2）

県内小中学校を訪問し、小・中学生や保護者にクラシック音楽の素晴らしさを伝えることで、大学と県民の交流を深め、地域文化の向上に役立つことを目的として

「**地域巡回演奏会**」を実施

【大分市立東陽中学校】



【大分市立植田中学校】



県内各地の小学校を訪問し、一緒にワークすることで、子どもたちに創作の喜びや楽しさを味わってもらい、美術への興味や感性を引き出すことを目的として

「**地域ふれあいアート講座**」を実施

【日田市立光岡小学校】



地域の活性化を図ることを目的に県立美術館OPAMとiichiko総合文化センターからなる芸術文化ゾーンと連携

【iichiko総合文化センターのジュニアオーケストラを講師等として支援】



【iichiko総合文化センターで公演した海外の著名音楽家が本校でマスタークラスを開講】



# ○ 学生が地域に出向き、交流し、活力を与える地域貢献活動に注力（1）

全学あげての芸短フェスタやサービ斯拉ーニングの実施、巡回演奏会、ふれあいアート講座等、学生が地域に出向き、交流し、活力を与える地域貢献活動に注力。  
大分市内の芸術文化ゾーン活性化の一翼を担うなど地方創生を支える役割を担う。

秋から冬にかけて、さまざまなイベントを実施する「芸短フェスタ」を開催



「芸短オープンカレッジ」として、趣味の講座やビジネススキルのアップを目指せるパソコン講座など、芸術系と人文系を併設した本学ならではの個性的・専門的な公開講座を開講

芸短大 オープンカレッジ

お申し込み・お問合せ先  
大分県立芸術文化短期大学 オープンカレッジ担当  
〒870-0833 大分市上野丘東1-11  
TEL: 097-545-0543 FAX: 097-545-0544  
E: ocol@oita-pg.ac.jp  
www.oita-pg.ac.jp

2023年度後期 受講生募集

日々の生活がちょっとだけ賢くなるような趣味の講座やスキルアップを目指す講座を開講します！新しい学びを見つけてませんか？

美術	
1 絵画 (絵巻) 講座 ー 筆づくり、インクスプレーー 担当: 美術科 本学	2 陶器 (日本画) 静物講座 ー 筆塗り、インクスプレーー 担当: 美術科 本学
3 こども粘土教室 担当: 美術科 白石恵美	4 習字 (日本画) 個人レッスン 担当: 美術科 白石恵美
5 音楽 担当: 音楽科 渡辺あゆみ、藤本あゆみ、佐々木	6 ホルン 個人レッスン 担当: 音楽科 本学

学んだことを地域で活かし、活動することで学びの意義を知る”ことを目的とした共通教育科目「サービ斯拉ーニング」を開講



社会問題解決のためのAIワークショップ



竹田食育ツーリズム



フードマルシェを通じた外国人留学生の支援



環境ワークショップ

# ○時代の潮流や教育ニーズの変化に対応した学生が魅力を感じる大学づくり（1）

芸術系・人文系 4 学科の枠を越えて共通で学ぶことができる全学横断型のカリキュラム「アートマネジメントプログラム」を平成 30 年度後期からスタート。  
 地域で芸術文化プロジェクトを企画運営できる人材の育成を目指し、県総合文化センターやOPAM（県立美術館）等と連携した実施体制を確立しています。

## アートマネジメントプログラム 《平成30年度開講》

アートマネジメントに関する専門科目（4科目6単位）と、一般教養科目と各学科専門科目で構成したアートマネジメントに関連する分野別科目（16科目から6単位以上）を修得

### 3 っの特徴

- 1 企画運営の知識とスキル修得
- 2 実践によるコミュニケーション能力UP
- 3 学科横断型のカリキュラム編成



大分県立美術館OPAM  
コレクション展の鑑賞

### アートマネジメントとは？

芸術家（美術、音楽、演劇など幅広いジャンル）と観客の橋渡しをするのが主な役割です。  
 具体的には、文化施設や文化団体などの運営に関わる仕事がありますが、それにはさまざまなノウハウとスキルが必要とされます。



iichiko総合文化センター  
オペラのバックヤードツアー

### 目指せる主な職業

ホールマネージャー／音楽・美術等プロデューサー／文化施設等の専門スタッフ  
 ／出版系企業／企画制作・管理運営等のスキルを求める企業 など

## ○時代の潮流や教育ニーズの変化に対応した学生が魅力を感じる大学づくり（2）

江漢大学（中国）や釜山外国語大学（韓国）との交流に関する協定書の締結、ソウル市立大学校やマレーシア国立クランタン大学、クライストチャーチポリテクニク工科大学（ニュージーランド）等との相互交流の覚書・協力協定により、短期語学研修の実施、留学生の受け入れ、在学生の編入支援を行うほか、学生間同士あるいは関係都市との交流事業を実施。

2019年には、サンアンドレス国立大学（ボリビア）との学術交流協定を締結した。

〔国際交流〕



【中国】江漢大学（武漢市）

〔海外語学実習〕



【イギリス】セントラル・ランカシャー大学



【韓国】釜山外国語大学

〔海外ボランティア実習〕



〔大分国際車いすマラソン大会  
ボランティア〕



【ボリビア】サンアンドレス国立大学



【アメリカ】カリフォルニア大学デイビス校



【フランス】西部カトリック大学



# ○時代の潮流や教育ニーズの変化に対応した学生が魅力を感じる大学づくり（3）

学長の人脈を活用し（公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団等の関係機関と連携して、国内外の第一線で活躍しているアーティスト等を招へいすることで、学生や地域の皆さまに、大分にいながら世界トップレベルの芸術文化に触れる機会を創出している。



東京フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者  
A.ベヴェラリ氏による公開マスタークラス



ドニゼッティ歌劇場財団芸術監督のフランчесコミケーリ氏によるオペラマスタークラス・講演会



定住旅行家・モデルのERIKO氏の講演



ピアニストの松田華音さんによる公開レッスン



井村美術館(京都)収蔵品展示と  
井村欣裕氏の講演



アルビオンアートのジュエリー展示と  
代表取締役 有川一三氏による講演



## ○時代の潮流や教育ニーズの変化に対応した学生が魅力を感じる大学づくり（4）

創立60周年を機に、本学の独自性を顕在化し、高校生への訴求を強化するために「ブランディング」を実施（2023年度）

### ブランド・アイデンティティ

大分県立芸術文化短期大学は、  
感性と知性を融合させ、  
新たな視点で地域・社会の未来を拓きます。

### ブランド・コンセプト

- ・ 本学は、芸術系と人文系の学科を併せ持つ日本で唯一の公立短期大学です。
- ・ 多様な専門性と個性が交差する学科間交流や、独自の芸術文化の歴史が息づく大分での実践的な活動を通じて自ら考え、動き、新たな視点で未来を拓く人材を育成します。
- ・ 地域・社会の課題を解決しその発展に貢献すること、それが本学の使命です。

ご清聴ありがとうございました

# 大分県立芸術文化短期大学

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE



公式マスコットキャラクター  
「ふみちゃん」